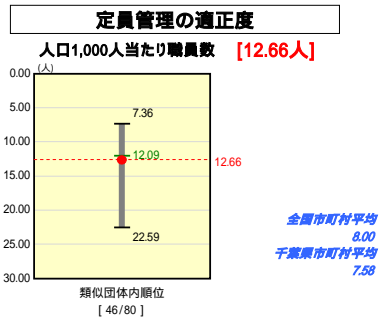
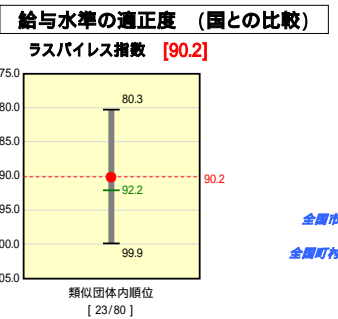
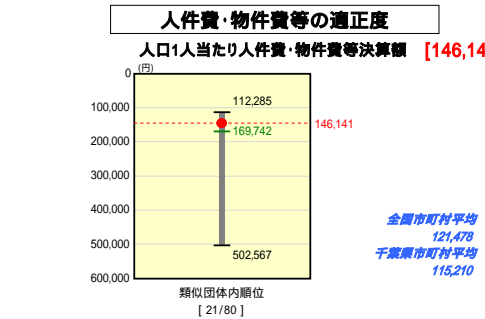
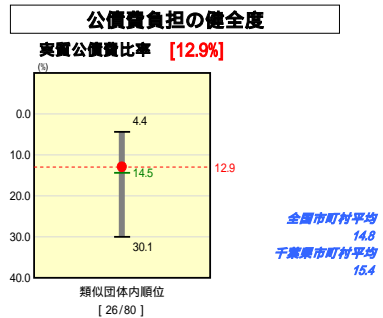
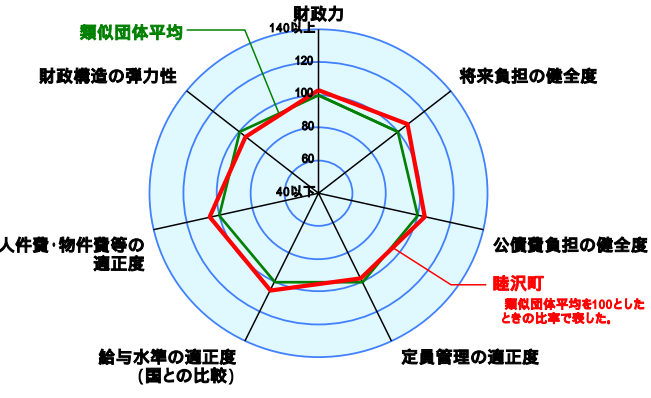
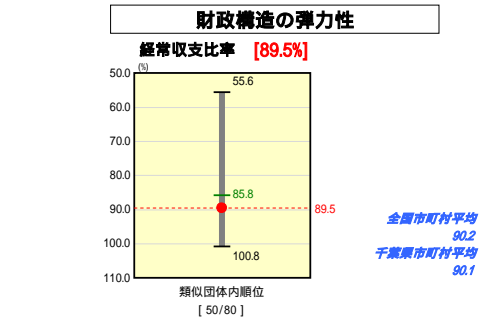
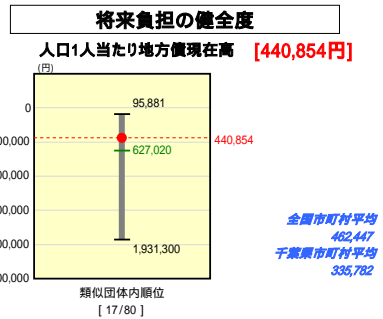
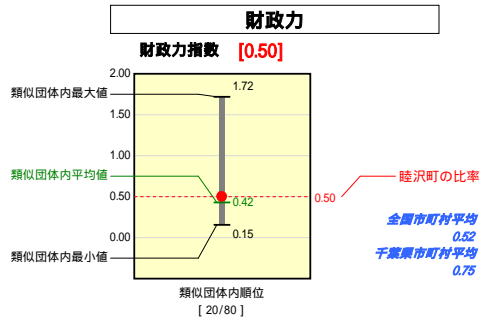


# 市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

## 千葉県 陸沢町

人口	7,977人(H18.3.31現在)
面積	35.59 km <sup>2</sup>
歳入総額	3,888,520千円
歳出総額	3,626,719千円
実質収支	255,743千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

**財政力** (財政力指数)  
財政力指数が0.50となっているのは、地方譲与税やゴルフ場利用税交付金等の収入が類似団体平均を上回っていることが要因と考えられる。金額全体は近年減少傾向にあるため、新規採用の抑制など職員数の削減による人件費の削減、緊急を要する事業を精査し、投資的経費を抑制する等の歳出の徹底的な削減を実施するとともに、徴収の取組向上や受益者負担の適正化等歳入の確保に努める。

**財政構造の弾力性** (経常収支比率)  
類似団体平均より若干低減(89.5%となっているが、昨年と比較すると1.2%下がっている。投資的経費等の削減により地方債の借入を削減すること、また、新規採用の抑制による職員数の削減等による人件費の削減など行政改革への取組を通じて引き続き義務的経費の削減に努める。

**人件費・物件費等の適正度** (人口1人当たり人件費・物件費等決算額)  
類似団体平均より低減(146,141円となっているが、昨年と比較すると1.2%下がっている。投資的経費等の削減により地方債の借入を削減すること、また、新規採用の抑制による職員数の削減等による人件費の削減など行政改革への取組を通じて引き続き義務的経費の削減に努める。

**給与水準の適正度** (ラスパイレス指数)  
給与の適正化に努めており、類似団体平均を下回っている。今年も年功的な給与上昇の抑制等の給与体系を精査し、より一層の適正化に努める。

**将来負担の健全度** (人口1人当たり地方債現在高)  
近年大規模な建設事業が少なかったため、現在は類似団体平均を下回っている。今後、中学校の補強工事等で地方債の発行を予定しているため、その他の地方債の発行を抑制し、類似団体平均を上まわることのないよう努める。

**公債費負担の健全度** (実質公債費比率)  
他団体に比べ大規模な普通建設事業等がなく、類似団体平均を下回っている。しかし、元利償還額は増加の傾向にある。今後も緊急度及び住みやすさを的確に把握した事業の選択により、起債に付き(繰上)の財政運営に努める。

**定員管理の適正度** (人口1,000人当たり職員数)  
平成18年3月31日現在、職員数が109名である。平成21年までに新規採用の抑制等で6名(5%)の職員削減を実施し、定員の適正化に努める。